

授業科目名 (英文名)	機械工学特別演習 (Advanced Seminar II on Mechanical Engineering)	科目区分 対象学生	
単位数	4.00	開講年次・ 学期	1 , 2 年次・後期
担当教員	海津 浩一 原田 泰典 日下 正広 木村 真晃 山口 義幸 木村 文義 阿保 政義 比嘉 昌 木之下 博 本田 逸郎 河南 治 井上 尚三 布引 雅之 小西 康夫 佐藤 孝雄 荒木 望 黒田 雅治 高垣 直尚 田中 一平 川口 夏樹 松本 直浩	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 修士論文のテーマに関する機械工学分野の最近の技術や研究動向を、図書、文献、資料などの調査および指導教員との詳細な討論によって理解する。さらに、その内容を修士論文研究に取り入れて教員等に対して発表を行い、質疑討論を通じて理解を深める。</p> <p>達成目標 修士論文研究およびその関連分野に関する理解を深めるとともに、発表・討論能力を身につける。</p>		
講義内容・授業計画	調査内容と関連させて修士論文研究の現状および今後の研究の発展について指導教員との討論を通じて把握させるとともに、教員等に対しての修士論文研究の現状・今後の発展に関する発表・討論により、修士論文研究および関連分野に関する理解を深めさせるとともに、発表・討論能力の向上を行なわせる。		
テキスト			
参考文献			
成績評価の基準・方法	修士論文研究に関する学内や学外での発表やポスター発表の状況をもとに総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	<p>担当教員による履修要件に従うこと。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		

実践的教育	該当しない
備考	本学の配付資料を参照してください。